



1, 2年生 道コン4/2

作業療法士の佐藤さんと美容師の堀江さん



3年生 道コン4/3

3年ぶりに帰銅の板坂君



高専生

出来る人は皆、字が綺麗と言う栗野君



## 『新年度、スタートして一ヶ月!』

新小学、中学、高校、大学、社会人の一年生は、それぞれ一ヶ月が経ちました。どの段階でもスタートはとても大切です。勉強だけでなく、部活との両立、人との関係など自分の思い通りにいかない事の方が多いのが現実です。

それぞれのペースを掴むにはまだ時間がかかると思います。我慢をすること、協調性を身につけること、目標を持って努力すること、そして続けることがとても大切です。

少し大袈裟に言うとな人生の前半、二十歳前後までの努力や行動が、その後の自分の人生に大きく影響します。楽しいことや、楽なことばかりやっていて損をするのは、結局は自分自身です。

GWが終わったら本気で取り組んで欲しいと思います。六月には最初の定期テストがあります。普段の努力の成果がテストの結果です。

## 『40%が学力開いた!』

### 新指導要領で小学校教員

小学校の学習指導要領で学習内容が大幅に増えたことで教員の40%が「児童の学力格差が大きくなった」と感じ、「授業についていけない子が増えた」と考える教員も4人に1人に上ることが15日、ベネッセ教育開発センターの調査で分かった。センターは「難しい学習項目も低学年に移り、早い段階でつまずく子が増えている。学力格差がさらに開き、学習意欲が下がることが懸念される」としている。調査は昨年6〜7月、公立小教員に実施し、868人が回答。児童の変化を尋ねたところ、**学力格差について40%が「大きくなった」と答え、「変わらない」は54%、「小さくなった」は2%だった。授業についていけない児童は「増えた」が26%、「変わらない」64%、「減った」6%。**新指導要領は昨年4月から完全実施。「ゆとり路線」より6年間の総授業時間

## 『言うは易し行は難し』

驚いた! 銅路の冬は長い。私の中では11月からずっと冬だ。「凍てつく寒さ」の「凍てつく」を身をもって体験した。おそらく、この冬の間に3回は寒さで耳がとれた? (と思う)。

3月になっても4月になっても、まだまだ本格的な春は来ないが、まわりも国道で頻りにシカやタンチョウに遭遇するようになったので、ゆっくりと春が近づいているに違いない。

初めての氷点下の長い、長い冬を乗り切れた理由は「冬なのに抜けるような青い空が広がる銅路の気候があったからだと思う。おかげで気絶しそうに寒くても、元気な気持ちでいられた。

人にも青い空のように、その場を瞬く間に元気にする人がいる。存在だけで、その場が明るく周囲に笑いが絶えない人。仕事の出来、不出来の話ではなく、職場でも家庭でも、とても大切な「ムードメーカー」となる人だ。

よく観察していると、「ありがたうの声が大きい」「リアクションが大きい」「適度にはしゃぐ」「話かけやすく、よく話しかける」「人のことをとやかく言わない」「他愛もないことでよく笑う」「自分の失敗を笑いに見える」といった特徴を持っているようだ。

さらに、よく観察していると、「話し相手の目を

総授業時間は278時間増え、教科書のページ数も約4割増えた。産経新聞 2月15日付

学力格差が「変わらない」が54%とあり、半分以上が「変わらない」と答えているのだから、これまでで変わらないと考えてしまいがちだが、これまでも厳然として大きな学力差がある。だから、「大きくなった」の40%と加えると、これはとんでもなく大きな数字だ。

右は小学生に関する記事だが、この4月から驚くほど学習量が増え、難度が上がった中学生はどうなるのだろうか。改めて新教科書を見ると、産経新聞の記事にあるように、学力格差がさらに開き、学習意欲が下がることが懸念される。

銅路市内の小中学校では、今年度に入っても、一、二時間の授業参観の振り替えの休みを取ったり、家庭訪問で午前授業が一週間。何も変わっていません。いくら学力を上げようと叫んでも、学校が本気で取り組まなければ、生徒の意識は変わりません。

今年卒業した生徒の内7名が、続けて塾に来ています。高校入試が終わると全てが終わったかのように楽をしてしまう市内の生徒が多い中で、高校に入學しても勉強する生徒との差は学力以上に、意識の差となって現れます。

もう一つ、ステップゼミナールでは今年度から特に数・理・英に力を入れます。理由は二つあります。一つは、新指導要領で数・理・英が強化されたこと、もう一つは、将来の就職のことを考えると、これからは理系の方が就職に優位です。具体的には工学系や医療系に進むことです。従ってそのハードルを越えるための学力が必要となります。

見てアイコンタクトをしっかりと取っている」「相手の話によくうなずいている」「相手の話の頻りに相づちをうっている」「決して相手の話を遮らない」「否定的な言葉は使わない」「相手の話の内容によって、よく顔の表情が変化する」

「目」と「耳」と「心」できくから「聴く」と書く。つまり、とてもよく人の話を聴ける人なのだ。ムードメーカーと言われる人は、よく「持って生まれた能力だと評価されがちだけど、多分そうではない。目配り、気配り、心配りのできるホスピタリティあふれる人なのだ。感謝して見習おう。」

銅路空港ビル取締役 近藤祥子  
銅路新聞4月29日 巷論より

既に、二、三年生には英語を一年生からの復習を宿題とし、徹底してやっています。そのため帰りに残されたり、次の日に呼ばれたりしています。覚えようとする意識に欠け同じ間違いを繰り返す、丁寧に取り組まず、字がきたない、雑は、やり直しをさせます。数学も同じです。

春休みに顔を出した栗野くん(湖陵卒)は丸付けをしてくれながら、予備校では勉強の出来る人はみんな字が綺麗だと言っていました。(彼も字はかなりきれいでした)丁寧な取り組みは、勉強でも部活でも結果を出すのに一番重要なことです。そして、時間を守る、忘れ物をしない、元気に挨拶する。できない人がたくさんいます。まずはここからです。

## 『5月の予定』

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	
				休塾							休塾				★単元テスト(英単語・計算問題)			休塾							休塾	休塾	休塾	休塾	★通常授業	★通常授業	
				★鳥取西中修学旅行											★単元テスト(英単語・計算問題)																
															★遠矢中修学旅行																

第1回漢字検定は7月13日(金)に実施します。

\*\*\*\*\*

## 1) 厳しい先生はイヤ?—「高み」目指す姿勢学べる (挑む)

春期講習が終わったと思ったら、もう新年度の授業が始まった。この時期は、新しく塾に入りたいという問い合わせが一番多い時期でもある。

「この授業を担当する先生はどんな方ですか?」。最近、保護者から、こんな問い合わせが目立つ。同じ名前の授業が複数の教室で異なる曜日に開講されるので、どの講師を選べばよいか、気になるのは当然だろう。

ただ、話を聞いてみると、保護者の関心事の多くは「その講師は厳しいのか厳しくないのか?」にある。「うちの子は、厳しい先生だと萎縮してしまうので……」

正直言って、高校生なのだから、自分で授業に出てみて自分で決めればよいと思う。そのために体験授業という制度もあるのに、親が出てきて、「厳しい先生はいやだ」となってしまう。

確かに、講師ごとの受講者数をみると、厳しい講師の受講者数は減る傾向にある。そんな講師の授業は、きちんと予習をして臨まないと、ついていけないし、しっかり予習してくるようにならざるを得ない。それがいやだから、フレンドリーで、ある意味「ゆるい」講師へと流れていってしまう。

でも、**厳しい講師は、何も好きこのんで厳しくしているわけではない。難関と呼ばれる大学を目指すのであれば、受験生に要求される水準もおのずと高くなる。その「高み」を目指すのであれば、普通の学習姿勢をきちんと身につけてもらいたいと考えているから厳しく言うのだ。**

予習をして、分からない単語は辞書で調べ。ろ覚えの公式はきちんと確認しておく。その上で授業に臨み、緊張感の中で学ぶことによってのみ、得られることがあるのだ。

生徒たちに合格してもらいたいからこそその厳しさなのである。だからこそ、本気で立ち向かい努力する生徒にはとことん付き合い、できるようになればきちんと評価をする。

卒業してから、**生徒たちが訪ねてくるのは、「ゆるい先生」ではなく、「厳しい先生」の方なのである。**

## 2) 入学後も心配りを (親和力) 4月14日

第1志望校に合格した子も、残念ながら「滑り止め」として受験した学校に通うことになった子も、それぞれの思いを胸に入学式を迎えたことだろう。残念なのは、滑り止め校に子が通うことになった家庭で、近所の視線を気にして離れた町に引っ越したり、子どもと一緒に歩いている親がかばんの学校名を隠そうとしたりする例があることだ。

親にとって本音は本意に違いない。しかし、気持ちの切り替えが大切だ。惜しいところで上位志望校に不合格だったとすれば、滑り止め校ではトップクラスの学力を持っているはず。学力がすべてではないが、**現実に成績が学年の上位3分の1に入っている子は自己肯定感が強く、自信を持って行動する傾向が強いという調査結果もある。**

これは学校のレベルとは関係ない。進学校に入学しても、**その中で下位の成績の子は自信を失い、気持ちが不安定になることが多い。受験が終わると子どもの学力への関心は薄れがちだが、入学後も子どもの学習環境に気を配ってほしい。まずは最初の定期試験に向けて、2~3週間前から準備を始めるように促すことだろう。新しい学校生活をスムーズに始めるために、親の上手なフォローは欠かせない。**

## 3) 学力テスト2年ぶり実施、178万人、理科は初試験。

小学6年と中学3年を対象の文部科学省の「全国学力・学習状況調査」(全国学力テスト)が17日、始まった。昨年4月に予定していた前回は東日本大震災の影響で事実上中止となり2年ぶりの実施。国語と算数・数学のほか、初めて小中ともに理科が加わり、3教科になった。

政権交代で2010年度以降、一部の学校を選ぶ抽出方式になり、今回の抽出率は30.5%。国の成績集計の対象外だが、希望して参加する学校も多く、国公立全体で81.2%に当たる2万5868校の約178万8千人が参加。10年度より7.7ポイント上昇し、参加意欲の高さを示した。

平野博文文科相は記者会見で「理科の学習意欲が低いとされており、調査を通じて理科離れの実態をみていきたい」と教科増の理由を語った。

抽出外の学校のうち、参加を希望したのは73.0% (1万6159校)。公立は過去に好成績だった秋田や福井など21県が全校参加となった。

抽出率の内訳は、小学校24.8%、中学校41.5%。公立の小中を合わせた都道府県別の抽出率はトップの高知が57.9%に対し、最も低い愛知は14.6%。国立全体の参加率は87.5%、私立は24.7%。

国語と算数・数学の2教科は基礎的知識を問うA問題と知識の活用をみるB問題に分けて出題し、理科はAとBの内容を合わせて実施。子どもたちに生活習慣も聞き、学校側に授業の取り組みを尋ねる。結果は夏をめどに公表する。

\*\*\*\*\*

### ~日常編~

釧路高専の通学生の場合、一番大変なのは、学校への行き帰りです。

#### ・バスや汽車の時間をしっかり把握して、登校時間に遅れない。

高専では最近遅刻のチェックに力を入れており、2回遅刻すると授業に欠課がついてしまいます。バス、汽車の時間は帰りのも含めてしっかりチェックしておきましょう。

#### ・忘れ物はしない。

寮生の場合は忘れ物を取りに帰ることが可能ですが、通学生の場合はほぼ不可能です。高専の授業では関数電卓や辞書、専門教科だと製図道具等を使うことが多いのですが、これらを忘れてしまうと授業1回分何もできずに終わってしまうので注意しましょう。

#### ・友達や先輩との関係を大切に。

部活などで先輩と仲良くなっておくと、たくさんのメリットがあります。学校のことや学科のこと、先生のことなどいろいろ知っています。また、過去問(先輩のその年のテスト問題)をもらうこともできます。これは、テストのときに非常に参考になります。

### ~勉強編~

高専のテストは59点以下が赤点ということで大変だと思うかもしれませんが、そんなことはありません。以下を参考にしっかり勉強しましょう。また、仮に赤点を取ってしまったとしても次のテストで挽回できるので、赤点を取ってしまったテストは完全に理解できるように復習しましょう。

**1年生** テストは、1週間前からしっかり勉強しておけば80~90点くらいはどの教科取れるはず。また、高専の夏休みは1ヶ月くらいあるので、この期間中にも勉強しないと、夏休み前の勉強をほとんど忘れてしまいます。3日に1回くらい1時間程度授業の復習をしておけば、夏休みになにもしなかった人とかかなり差ができます。高専生活の中での自分の勉強方法というのは5年生まであまり変えることができないので、自分にあった勉強方法を見つけておきましょう。

#### ・とにかく授業はしっかり聞く。

高校最初の勉強は新しいことだらけです。授業時間は長いですが、授業をよく聞き、予習よりもその日の授業をしっかりと復習しておけば1年間困ることはないはず。です。

#### ・物理をしっかり理解しておく。

1年生で習う物理という教科は、これから専門教科をやっていく中での基礎中の基礎の知識となります。この教科はしっかり理解しておきましょう。

**2年生** 学科が決まり専門教科が少しずつ授業に組み込まれていきます。わからないところをその日のうちに潰していければ、2年生もテストの1週間前からやれば、しっかり点は取れるはず。また、提出物などが出てくるので期限はきっちり守るようにしましょう。

#### ・専門教科でわからないことがあったら、先生に質問しに行く。

各教科の担当の先生は、主に自分の教員室(主に3階)にいます。昼休みや放課後など予定のないときに訪ねれば気軽に答えてくれます。

#### ・専門教科をしっかり理解しておく。

これから5年生まで続く専門教科の中の基礎になります。ここでつまずいてしまうと、あとから苦勞することになるので復習したり、理解している友達に聞いたり先生に聞いたりして理解しておきましょう。

**3年生** ここからは少し勉強が大変になっていきます。また学校にも慣れて、自動車の免許を取得する人もでてきて行動範囲が広がったりすると、だんだん勉強をサボりがちになる人が多くなる年でもあります。テストも一般、専門教科が増えたりするので、テスト勉強もしっかり計画を立てて行いましょう。

3年生からは1、2年でやってきたことが基礎になるので、1、2年で自分がどれだけ頑張ったかによって差がでます。自分のやり方でしっかり勉強しましょう。また、3年生の数学でつまずく人が多くなります。3年生の数学は、4年の専門教科や、応用数学をやるにあたってかなり重要になります。

#### 4年生 実験、提出物、応用などが多くなります。ここからの2年は自分次第です!

**この文章は、高専5年生の富樫君(富原中卒)が今年高専に入学した人のために書いてくれたものです。高専生だけでなく、中学生にも当てはまることがあります。先輩の言うことですから本当に参考になると思います。**